

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX新案件！】

FXの自動売買ソフトは単一では長期では稼げないです。

けど「戦略を持って複数組み合わせるスキル」があると
長期で利益が安定してでます。

本来これらのノウハウは表にあまり出ていないのですが
それを教えてくれるスクールです。

また今回は

タダで【自動売買で長期的に利益を上げる方法】という

プレゼント動画をもらえます！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは！

さてさて、昨日から開始した

F X自動売買ソフトが 100 ソフト以上が

完全無料というキャンペーンが

人気ですね～

それで私は現在台湾の高雄っていうところにいるのですが

ホテルで昨日は講師さんの自動売買の基礎的な考え方を

復習していました。

ちなみに今回の講師の石川さんは

ご自身では自動売買ソフトを何個も組み合わせて

月間500万円やってる方ですね。

さらに自動売買の運用方法、マネージメントを教える

こちらのスクールですがかなり多くの方が

稼いでるわけですが

それでじゃあ講座がどういうことを教えているのか??

ということなんですが、それは

このLPで登録していただいた後のコメント特典で

動画で実は無料プレゼントで学べる感じですね！

今回

タダで【自動売買で長期的に利益を上げる方法】という

プレゼント動画をもらえます！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

それでプレゼントの一部をかいつまんで説明しますと、

自動売買ソフトっていうのはやはり「組み合わせて」

運用するのが基礎なんですね。

それでガッツリ稼いでる億トレーダーには

裁量トレーダーもいるし

またこの自動売買を組み合わせて相当富を得ている人たち

もいるのですが

(前出てくれた山之内さんは

裁量 + (半裁量 + 半自動売買) の両方やってましたね)

実は彼ら自動売買系で相当強い人らが

採用している内容が今回の講師さんの

コメント特典プレゼントで語られていました。

それで・・・相場というのは

7割がレンジ相場、3割がトレンド相場なんていわれます。

正確に言いますとレンジ相場の中でもまた時間足落として

ダウ理論の高値安値推移で

波を小さく見るとさらに

小さい波でトレンドが形成されてるのですけども。

ただ一般的には同一時間足で見える場合は

7割の時間帯はレンジしていて

3割はトレンドを作ると言われてますよね。

それで

実は自動売買ソフトの運用はこれらを「組み合わせる」というのが

とても大事でして、

今回講師さんが無料プレゼントで語っているのはそこです。

【自動売買で長期的に利益を上げる方法】

というプレゼントがもらえます。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

どういふことか??と言いますと

この方の場合は非常に単純に

「レンジ相場で強い（弱い）自動売買」

と

「トレンド相場に強い（弱い）自動売買」

を両方把握しているのですが

これを同時に稼働させるわけですね。分かりやすく言いますと。

もちろん講師さんの場合はそれぞれ1つつつではなくて

もっと複数に分散していくのですが

<1>レンジ相場で強い自動売買

なのですが

これが利益をあげられる場面というのはどういう場面??

というとそれはもちろんレンジ相場です。

相場がボックスしていて同じ価格帯を行き来しているような

相場。

こういうときにレンジ相場で強い自動売買は利益を上げられます。

が、トレンド相場がきたときにはレンジ相場で強い自動売買

~~~~~  
ってのはこれは損失を膨らませる傾向があるわけですね。  
~~~~~

じゃあそういうときにどうすればいいの??

というと講師さんがやってるのは

そこで負けないように

2トレンド相場に強い自動売買

を組み合わせるわけです。

このトレンド相場に強い自動売買を組み合わせれば

トレンドが出たときにしっかりと利益がそっちの自動売買で

計上されるわけでした

トータルとして大きく負けない、のですね。

~~~~~

それでひとつたぶん疑問が出てくると思います。

「けどさ、レンジ相場とトレンド相場でそれぞれ

補完しあうのは分かったけど

それだと結局 利益と損失相殺されるだけだから

~~~~~

プラスマイナスゼロじゃないの??」

~~~~~

って疑問が生じますよね??

ここが実は「肝」なんだけど

実は講師さんが使ってる自動売買はちゃんと検証上

長期的に利益が出る確率が非常に高いもの、

このものを利用しているので

ちゃんと長期間ではその自動売買 EA するのは利益を

もたらす確率が非常に高いわけですね。

収益曲線が単一 EA ではデコボコしているけど

右肩上がりなわけですよ。

だからたとえば、トレンド相場の際に

レンジ対応 EA では損失を計上して

トレンド対応 EA では利益を計上するのだけど

だからそこでそれぞれの利益を消しあう形にはなるのだけど

そこに「時間」という要素が組み合わさると

それぞれの EA でトータルで+になる確率が高いものを

利用するわけです。

だから実は、「負けない組み合わせ」で

長期では利益が

出せるのだ、と。

こういうことを早速一回目のコメント特典で

学べます。

**【自動売買で長期的に利益を上げる方法】**

**というプレゼントがもらえます。**

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

またEAのドロウダウンの時期でヘッジする

組み合わせ方もありまして、

2つの同じ通貨ペア、同じ時間足を扱う

EAがあったとして、過去検証上は

2つのEAとも、右肩上がりで資金が増えている、と

仮定します。

けど例えば、

EA1のほうは

2014年に最大ドロウダウンを更新したEAです。

けどその後回復して右肩上がりです。

一方EA2は2016年に最大ドロウダウンを更新した

EAだとします。

けどやはりその後回復して右肩上がり。

両者共

得意とする相場、そして苦手な相場は

違うわけです。

収益曲線を見ると、E A 1のほうは

2014年にずいぶん収益を減らして

その後回復という動きをしていて

大きなV字が2014年以降から作られてるけど

一方E A 2のほうでは

2016年1月2月以降に大きなV字が作られていて

同じく回復してる

ような収益曲線だったりするわけですね。

それでこれらの収益曲線は

それぞれのE Aを見ていくとかなりイビツで

それこそ右肩上がりでも

それぞれ2014年、2016年に

結構大きなドロウダウンをはさんでたりするわけです。

収益曲線というのは「波」ではありますが

やはりそれぞれのE Aってのは単一だと

「波」が激しいわけですね。

右肩上がりだけど、途中で大きく落ち込みが発生してる

収益曲線だったりするわけで



これでは実際の運用時に

心理的に「ドキドキ」してしまうわけですね。

例えば EA 1 だけで運用してるような初心者の人なら

そこで30%、40%の最大ドロウダウンが発生したら

「うわ~~~どうしよう」となって運用停止しちゃうかもしれません。

**必ずそこで 心理が働くものです。**

本来動かし続けてれば

右肩あがりの確率が高いのですが、

人間がEAのオンオフの判断するわけで

合理的に

動かし続けるという判断が

人間はできないものなんですね。

このトレーダーの心理部分を解消するのがポートフォリオ思想

なんですね。

それでEA1とEA2をもし「合わせてみたら」

どうでしょう??

EA1もEA2も EA1なら2014年以降に

大きな収益減の下落を形成してV字

EA2なら2016年以降に大きな

収益減を経験して後にV字が形成されてるけど

両者とも右肩上がりではあるわけです。

ここで「波を合成する」という考え方がありまして

これを「収益曲線の平準化」と私は勝手に言ってますけど

収益曲線を平準化することってのができるわけです。

E A 1 も E A 2 も収益曲線は右肩上がりではあるものの

でこぼこ、凹凸が激しいのだけど

2つをあわせるとその凹凸ってのがかなり

滑らかになるわけですね。

滑らかな右肩上がりに近づいていくんです。

**【自動売買で長期的に利益を上げる方法】**

**というプレゼントがもらえます。**

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

**だから重要な考え方がこの無料プレゼントでは語られていて**

**おそらく、やる気ある方だったらこれだけで**

**稼げるようになる人も出るのですが**

**重要な考え方っていうのは**

**「お互いの弱点を補うこと」なんですね。**

だから自動売買するのは

どういう風にポートフォリオ組むか？という

勝つためじゃなくて「負けないために」ポートフォリオを組むんです。

例えば

トレンド相場用 EA はやはりレンジでは弱くなって損失計上する

場合があるけど、

といっても長期稼働させれば利益は出るのが

講師さんの言葉を引用すると

「ある程度検証で分かってる」わけですね。

そのときにじゃあ一時的なマイナスの期間にどうそれを

補填して弱点を補うのか？というと

レンジ相場用の EA もこれまた稼動させていくわけです。

またこのそれぞれの EA の適切な

ロットバランスというのもあるのですが

それを考えていく。

そうすると、レンジ、トレンド

それぞれの相場で EA は弱点をさらけ出すのだけど

それを両方とも組み合わせることで

「弱点を補い合う」ということが可能なんですね。

だから実は「儲けるために自動売買を使うのではなく」

「負けないために、自動売買ソフトを組み合わせる」

という思想になるわけです。

【自動売買で長期的に利益を上げる方法】

というプレゼントがもらえます。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

それで・・・もう少し書くと

上に書いたように、自動売買ソフトを1個や2個で運用する

個人投資家が多いわけですが

講師さんからしたらそれは「愚か極まりない」ということ

であります。

1個や2個では相場の変化の性質に対応できない、

わけですね。

要するになるべく「確率をコントロールして収束させたい」

というのが目的なので

上記トレンド EA とレンジ EA を組み合わせるのだけど

たとえばそれぞれ1個だけ、合計2個の組み合わせだと



非常に「不安定」なんですね。

相場にはいろいろな環境がありまして、

例えば チャート形状がかりに似ていても、

どれ一つとして同じチャートはない、んですね。

例えば裁量ではヘッドアンドショルダーなんか

チャートパターンとしては最も信頼できる、と言われつつも

ヘッドアンドショルダーが形成されていても

どれ一つとして同じヘッドアンドショルダーはないわけで

相場参加者も違うし、そのときの株価や商品や債券の金利も違うし

環境はぜんぜん違うわけです。

相場というのは全く同じ環境はないがために

あらゆる負け場面に対応するという考え方があって

それだと1個や2個で負けを補填できないわけですね。

だから、例えば

トレンド相場 EA であってもそのトレンド相場を取れない、

それで結局収益は一時的にマイナスに落ち込むもの

も出てきます。

じゃあそういうときにどういう風にすればいいのか??

というところまた さまざまなトレンド相場 EA があって

そのトレンド相場を使って長期利益があがることが検証上

分かっているEAってのを

これまた数多く組み合わせていくのですね。

だから講師さんいわく「最低10個」「できれば40個のEA」

を同時稼働させるのが必須、ということです。

この考え方を「ポートフォリオ」っていいます。

それを無料で教えてくれてるんですね～

【自動売買で長期的に利益を上げる方法】

というプレゼントがもらえます。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

またこれを見ると「あ、裁量トレードでも

レンジ相場用のロジックとトレンド相場用のロジック

両方とも検証上利益が出るのがある程度期待値として分かってる

やり方を組み合わせる、というのが大事なんだな」

と分かりますよね。

だから裁量トレーダーで安定している人っていうのは

ひとつだけの手法でやってる人も中にはいるけど

この「トレンドとレンジ」両方で機能する検証済みロジックを

持って

これをそれぞれ当てはめていって安定利益を構築したり

している人も多いですね。

これを裁量で身に着けるのは結構時間がかかるといえば

かかるのですが

この講師さんのやり方というのは

自動売買ですから、それぞれのEA ロジックで

得意不得意がありますから

その弱点を「補い合う」という考え方になるわけです。

それで実は長期的にはそれぞれのEAは一時的に落ち込むことは

あっても利益を出しますから

そこで長期的には利益が出ると。

それでその「一時的に落ち込むことはあっても」

のところで

ここでドローダウンと言いますが、ここで補填をする考え方になる

ということですね。

そのEAが一時的にドローダウンと言いまして損失を計上する

場面で、

利益をあげられる、これまた長期では利益出せる

EA を組み合わせると。

そうすると同時にマイナスになる、ということがなくなってきました

破綻確率を減らせるという確率の考え方になります。

収益曲線の平準化、これが実はすごい

重要な考え方だと私は思います。

それでFX自動売買だけに限れば、

単一のEAたちで運用するのではなく

それぞれトレンド相場、レンジ相場用の長期利益が

検証上期待できるEAを

それぞれ最低10個は稼働させておくと。

大まかに言うと、これが講師さんのやり方ですね！

ちなみにポートフォリオの組み方も

最大ドローダウンの時期を分散させるやり方だったり

ロジック、トレードルールを分散させる方法、

通貨を分散させる方法、と色々あります。

それでこれを生徒さんに教えたところ

生徒さんたちもやたら勝つようになってきた、

ので今回の自動売買マネジメントキャンペーンになってますね。

それで私が上記に書いたことをもう少し分かりやすく、

動画でコメントプレゼントで説明してくれていますので



これから負けずに利益出したいと読者さんが

考えていらっしゃるようであれば

かなり来年に役立つ内容だと思いますので

ぜひ見てみてくださいね～～

本当にこういう考え方を知ってるか知らないか、

の世界なんですけど

知ってれば人生変わるってことになるわけだから

情報は大事だな～って私はほんと思います。

学校でもテレビでもまず教えてくれないことですが

やはり重要な知識だと思いますから是非

年末年始の時間を活用して学んでみてくださいね！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

追伸・・・ちなみに実際の運用でこれらの

「負けから想定してポートフォリオ組んでいく」

とどうなるか??

っていうと、月利では派手なパフォーマンスは

出なくなりますね。

よく「月利100%とか200%」っていう数字が

ありますが、

あれって投資家からしたらちょっと非現実的な数字です。

そのまま複利で月利100%で仮にその人が回せたら

その人の資産は

すぐにでも1000兆円とか1京円になってしまいますが

実際はそういうことは起こりませんね。

資産10兆円前後の

ウォーレンバフェットでさえ、

平均年利が実は26%です。

それでこのEAのポートフォリオ組をしていくと

どれくらいの数字になっていくか？というと

やはり限界額は当然あるものの

数千万円～数億単位の運用では

月利5%～10%前後に収束されることが多いですよ。

これは月利20%とか30%を狙うぞ！！なんて

言うのと比べるとかなり落ち着いた数字ですが

安定度が違ってきます。

けど・・・仮に平均月利5%だとして

それを10年間=120ヶ月継続すると資産は

複利で何倍になるか分かりますか？

大体10年では348倍になるわけです。

100万円でスタートしてる人なら

10年で3億円は作れる計算です。

ただ実際にはE A運用では平均月利7~8%前後は

上記の考え方でやってる人たちは出てたりするものだから

もう少し資金効率がよくなってるケースが多いですよ。

(ただFXでは資金運用額上限が実際は発生するわけで

最近銀行も厳しいから

自然と限界額も出てくるわけですね)

なので上記のようなポートフォリオを組んで

安定的に資産を増やせるというのが

E A運用の本当の運用方法ですよ。

通常「複利」という場合、

複利を利かせる絶対条件があつて

それが「長期で資産曲線が右肩上がりで

なおかつデコボコ、凹凸が小さいこと」

です。

資産曲線がデコボコしてる状況では

複利って心理的に無理なんですね。

一方、上記の負けからポートフォリオを組む場合

資産曲線がかなり平準化されるので

複利がかけやすくなるわけです。

だから巷で流行してる

「一発逆転」を狙うのがE Aの本来の運用方法ではない

~~~~~  
というのが真実でしょう。

世の中には資産家の考え方というのがあって

~~~~~  
資産家たちってのは自らの収益曲線を平準化した

~~~~~  
右肩あがりに近づけようとしてるわけで

それはまさに最近の華僑の戦略ですが

なぜそんな平準化したがるか？というと

複利をかけるためなんですね。

例えば2人投資家がいたとして

1人目、

1ヶ月目、月利20%、

2ヶ月目、月利40%

3ヶ月目 月利30%

というとすごい華々しいですが

一方

2人目

1ヶ月目 月利5%

2ヶ月目 月利4.7%

3ヶ月目 月利5.1%

の人がいたとしたら

数字上は後者のほうがショボイです。

が、10年、20年スパンで

大金持ちになるのは後者なんです。

なぜかというと前者はずっと続かないから

複利をかけるのは結構勇気がいるんですが

(常に心理と格闘する必要性が出てきちゃう。

ゆえに途中一定の金額、

多くは人間の生活がある程度保障される

数億円単位でストップがかかる傾向。)

後者はまあ続く可能性はかなりあるから

資産曲線もかなり平準化されてるので

心理的に穏やかにすごせるため

複利を利かせやすいですね。

彼らは資産が数億円を超えてもう

少し上の桁数になったり

するわけで

そのための「資産曲線の平準化」なわけです。

それでこの辺の考え方は

相当深い話でもあるのですが

この案件でかなり学べますので

ぜひ学んでみてくださいね～～

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

追伸２・・・ちなみに私が２０代のころ

とあるすごい経営者さんが言っていて

「理解できなかった言葉」

がありまして、

それが「１年で１億円を稼ぐのは簡単だけど

５年で１億円を稼ぐのは難しく、後者のほうがすごい」

って言葉でした。

これ、私が２０代のころ意味不明だったんですよ（笑）

「この人なに言ってるの？」と。

だって何も知らなかったら

５年で１億円稼ぐより、１年で１億円稼いだほうが

良いと思うじゃないですか？

けど30代で色々学ぶ中で

自分でもやってる中で

この意味がすごい分かってきていて

要するに前者の

1年で1億円を「急に」稼ぐ一攫千金の場合、

複利利かせられないから

狙える金額が数億円、多くて10億円前後で止まる

んですね。

けど、5年間で1億円を稼いだ人ってのは

5年間でちょっとずつ複利で1億円まで資産を

地道に増やしてきた人で

その背後には「経験と知識に裏付けられた安定性」

ってのがああるんですね。

今回の話で言うと

前者の急に1年で1億円稼いだ人は資産曲線で言うと

階段状であって 急にドカーンと資産が増える。

日本では宝くじが常に人気であるわけで

みんながあこがれるのはそっち。

仮想通貨長者なんてまさにそれでしたよね。

ただこの人は
「資産全体」に複利かけられないんです。

けど後者の5年で1億円の人は何人？というところ

資産が地味ではあるけど比較的

「緩やかな右肩上がり」なのですね。

んでこうなるとあらゆるヘッジ方法知って1億円にしてるから

確率を操ってるのは後者なので、

後者の彼はさらに資産の全体に複利を利かせられる。

だからたぶん3年、4年時点では

前者の1年で急に1億円稼ぐ人のほうがすごいんだけど

そしてニュース性は高いので

そういう人がメディアで取り上げられたりするけど

10年、20年、30年となると

複利が利いてる後者の数字が逆転してくるんです。

(さらにここには税金も絡みます)

だから私は若いときは理解できなかったけど

その後

安定性と複利、を理解して

上の起業家さんの言ってる意味が分かってきたってのは

ありましたね。

それでこの辺の複利と単利の数字の話が

分かる方ならば、

この案件はE Aの複数運用で

資産曲線の平準化を構築していく案件で

結構珍しく、面白いと思うので

そして投資の本質が学べるでしょうから

ぜひご覧くださいね～～

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>